

## 中期学校経営方針

### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
学ぶことを通して、自ら課題を形成し、その課題を自ら解決し21世紀を生き抜く力をもった人を育てる。 (ストリートスマート、地域リーダーの育成)	〈協働的に次代の社会をつくる力〉

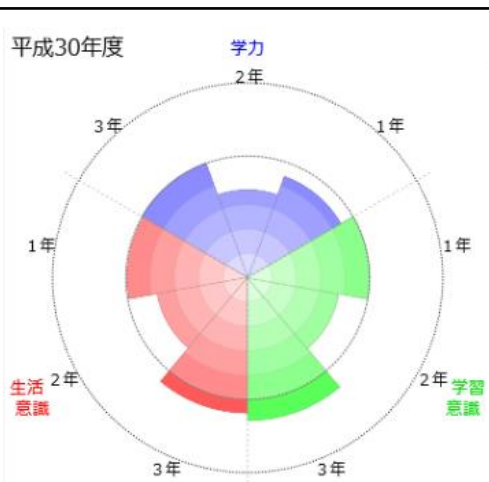
### (2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○明るく・楽しく・前向き(あ・た・ま)をモットーに、それぞれに笑顔と居場所がある明るくあたたかい学校づくりを「チームたかた」で目指します。</p> <p>○教職員が生き生きと学び認め助け合い、生徒理解力と生徒に寄り添った指導力の向上に努める学校を目指します。</p> <p>○生徒が自らの将来の夢や目標の実現に向かい、異なる価値観や考え方や行動を認め、大切にし合い、自ら考え誤解なく伝えようとする態度の醸成を目指します。</p> <p>○学校・家庭・地域・社会による連携・協働により、「地域・社会と共に歩む開かれた学校」づくりを一層すすめます。</p> <p>○生徒それぞれの学力の定着・向上と主体的・対話的で深い学びを促進できる授業の実践を目指します。</p>

### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①全国・市学状や生徒向け授業アンケートの集計結果と経年変化の分析をもとに、授業改善と、「わかる」「主体的・対話的・深い学びができる」授業につながる工夫とを行う。②小中一貫教育推進ブロックにおける合同授業研修会を活用し、3校で研究を推進する。
担当 各教科・小中一貫教育	

## 2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握



### (1) 学力の概要と要因の分析

第3学年の学力は、概ね市平均と同じ程度である一方、第2学年・第1学年の学力は、ともに市の平均を下回っている。生活意識をみると、第2学年・第1学年ともに「学校の授業は分かりやすいですか」について「よく分かる」「だいたい分かる」と回答する生徒が50%未満である。生徒にとって「分かる授業」となる工夫をして、学習意識・学力向上へとつなげたい。

### (2) 教科学習の状況

- 国語科：1・2年において、「知識・理解・技能」「話す・聞く能力」を問う設問の正答率で、市平均を下回っている。
- 社会科：3年において、「知識・理解」「思考・判断・表現」を問う設問の正答率が、市平均を上回っている。
- 数学科：3年において、計算問題全般の正答率が市平均を上回っている。

○理科：1年において、「知識・理解」「技能」「思考・表現」に関する問題の正答率が高くなっている。

○外国語科：3年において、「理解」聞くことに関して、聞き取りの能力がやや高い。

### (3) 経年変化の状況と要因の分析(学習・生活意識調査も含めて分析)

経年変化の状況から、ここ3年間、国語・理科・外国語に対する学習意識の高さがうかがえる。一方、生活意識について安定して高い数値を保ってきっていたが、変化が見られた。要因を分析し、対策を講じていく必要がある。

### 3 令和元年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
国語	◆伝え合うことで自分の考えを深化させる力	○作文や発表を通して、自分の考えを相手にわかりやすい言葉で伝える力を高める。	
社会	◆協働的に解決策を見だし、より良い社会をめざす態度	○自分の考えと他者の考えを比較、検討することで、課題に対する思考を深め、その解決について判断する力を高める。	
数学	◆他者と考えや思いを共有するコミュニケーション能力	○解答を発表しあうことを通し、問題を解くまでのプロセスが様々あることから、他者の考えを理解する。	
理科	◆伝え合うことで自分の考えを深化させる力	○実験の考察の発表活動や、実習を通して、自らの考えを表現し、他者の考えを聴き、理解する。	
音楽	◆他者と考えや思いを共有するコミュニケーション能力	○鑑賞や歌唱、実技演奏を通して、聴き合うことや、発表することでコミュニケーション能力を高める。	
美術	◆自分らしさを発揮しようとする姿勢 ◆伝え合うことで自分の考えを深化させる力	○身近な生活につながるよう題材を設定し、積極的な自己表現ができるようにしていく。	
保体	◆協働的に行動する姿勢	○グループ学習を通して協力し合い、互いの活動の良さを認め、自ら進んで学習に取り組む姿勢を身につけさせる。	
技・家	◆社会生活との関わり合い	○実習、作業を通して家庭、地域社会企業と連携し、生徒が身に着けた能力を活用する力を高める。	
外国語	◆伝え合うことで自分の考えを深化させる力	○フリートークやスピーチへの取組を通して他者の考えや思いを知り、自らの考えを正しく伝えようとすることで課題への思考を深める。	
道徳	◆他者を理解する態度・自己を理解する姿勢	○身近な題材を活用し、生徒が問題意識をもち、自己を見つめながら、振り返りを通して、自身の成長を実感できるようにする。	
特活	◆他者と考えや思いを共有するコミュニケーション能力	○様々な集団での活動を通して、学校や学級の課題を見出し、よりよく解決するために話し合っ合意形成する力を高める。	
総合	◆社会に主体的に貢献しようとする態度	○キャリア学習を通じて、生徒が自身の将来の展望を実社会や実生活と関連付けて考える力を高める。	
個別級	◆主体性・積極性	○将来の社会生活を意識させるための、作業活動の充実を図る。	